

三鷹市ソーシャルバリアフリー化計画 高齢者が社会と共生していくために

チーム名：アリスカーズ

学生氏名：蟻坂泰心, 橘俊幸, 島田真理, 服部愛呼, 臼田鈴葉, 宮原咲也佳, 太田樹里
 大正大学 社会共生学部 公共政策学科 データサイエンス科目チーム
 担当教員：多田佐織, 木田和廣, 森田彰浩 チューター：酒井謙

キーワード：高齢者, 健康, 共生

緒言

行政機関で実際に用いられるデータを分析する授業で、三鷹市役所から実際の調査データを頂いたことが今回の報告会に出場する契機となった。

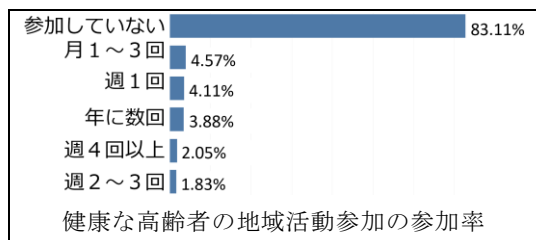
研究方法

BI ツールの tableau (タブロー) を用いてデータの分析を行う。主に使用したデータは、三鷹市の「令和元年度 第 8 期介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の集計データである。その他に、「令和元年度 三鷹市高齢者の生活と福祉実態調査報告書」、「平成 30 年度 三鷹市公園・緑地の適切な活用に向けた指針」、「三鷹市公園・緑地等の一覧」、内閣府の「第 9 回 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」及び「平成 28 年度 世論調査報告書」、厚生労働省の「令和元年度 国民健康・栄養調査報告」を使用した。

分析結果

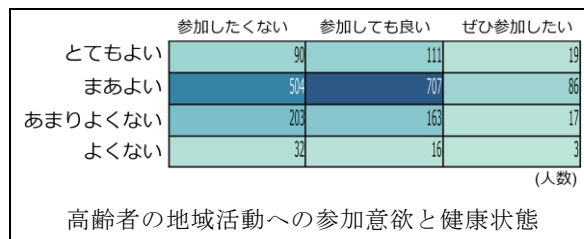
「第 8 期介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の分析結果より、以下のことが明らかとなった。

- 三鷹市における健康な高齢者の地域活動参加の参加率は全国値と比較して低い。

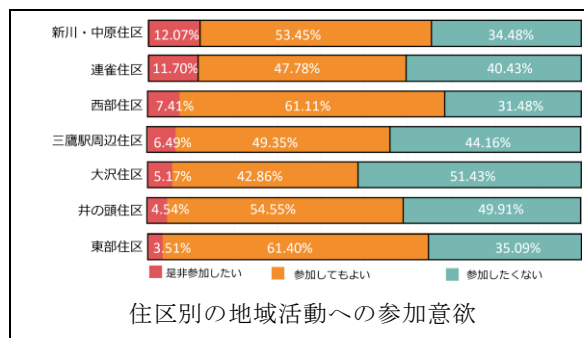


- 高齢者の地域活動への参加意欲は高く、健康状

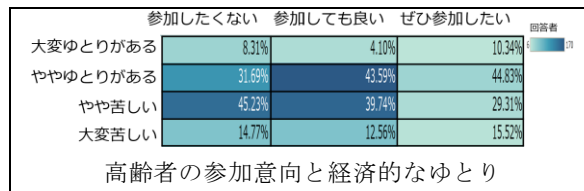
態が良い。



- 是非参加したいという回答が特に高い地区は、新川中原地区と連雀地区である。



- 参加したくない回答者のうち経済的なゆとりがない高齢者が約 6 割を占める。



「令和元年度 三鷹市高齢者の生活と福祉実態調査報告書」より、地域活動に参加した際の特典の希望について、図書カードやクオカード商品券が良いという回答が最も高く全体の約 4 割を占めていることが分かった。

「平成 30 年度 三鷹市公園・緑地の適切な活

用に向けた指針」から、三鷹市の住民は「自由に遊べる」ことと「自然とふれあい」が出来ることを公園に求めていることが分かった。また、望ましい公園の姿として子供が遊べる環境を求めていることも明らかとなった。

「三鷹市公園・緑地等の一覧」の分析より、三鷹市の地区別の公園の合計面積は新川地区及び連雀地区が突出して広いことが分かった。

内閣府の「第9回 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」から、参加時間と人数に余裕があることが重要であることが分かった。この調査結果から、「時間的・精神的ゆとりがない」こと、「団体内での人間関係がわずらわしい」ことが、高齢者が地域活動に参加しない理由として大きいことが分かった。

「平成28年度 世論調査報告書」では、調査対象の高齢者の半数以上が、15分未満の移動時間を許容していることが分かった。

厚生労働省による「令和元年度 国民健康・栄養調査報告」では、全国の高齢者の地域活動への参加率が81%であることが分かった。

考察

以上の分析結果より、以下のような参加しやすさを満たす地域活動であれば参加率の上昇が望めると考えられる。

- ・参加時間と人数が自由である
- ・支給される報酬が参加者のニーズと一致する
- ・活動する場所に行きやすい

また、高齢者の移動時間の許容範囲や住民が求める公園のあり方を加味し、公園での福祉と結び付けた地域活動が最適であると考えられる。

提案

以上より、高齢者による公園での児童の見守りと清掃活動を提案する。活動場所は高齢者でも行き来がしやすく、且つ住民のニーズに合わせた公園とする。また、参加による報酬は市内で利用できるクーポンとする。

活動内容を見守り活動とする理由は、三鷹市の

住民の公園に対するニーズから、公園での清掃・見守り活動には大きな意義があると考えたためである。また、三鷹市の基本目標である「高福祉・いきいきとした豊かな地域社会の形成」にも一致すると考える。

報酬を市内で使えるクーポンとしたのは、調査結果で図書カードやクオカード商品券が良いという回答が最も多かったためである。地域内での経済の活性化につながるという視点からも商品券、クーポンを報酬とした。

地域活動によって考えられる効果について、行政面での効果は以下の4点が考えられる。

- ・清掃活動による公園の美化
- ・見守りの強化による治安の向上
- ・健康寿命の向上
- ・クーポンによる市内での経済の活性化

また、高齢者にとっての効果は以下の3点である。

- ・自分の都合活動が可能となる
- ・活動を通じた健康の維持
- ・新たな住民同士の関わりの構築

以上の他にも、高齢者の地域活動の参加率の向上だけではなく年齢層を越えて多くの人々が住みやすい環境となると考えられる。

参考資料一覧

- ・「令和元年度 第8期介護予防・日常生活圏ニーズ調査」
- ・「令和元年度 三鷹市高齢者の生活と福祉実態調査報告書」
https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/087/087128.html
- ・「平成30年度 三鷹市公園・緑地の適切な活用に向けた指針」
<https://mitaka-e-book.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjozMzI4NjAifQ==&detailFlg=1&pNo=1>
- ・「三鷹市公園・緑地等の一覧」
https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/078/078305.html
- ・「第9回 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」
https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/r02/zentai/pdf_index.html
- ・「平成28年度 世論調査報告書」
<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/index.html>
- ・「令和元年度 国民健康・栄養調査報告」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/r1-houkoku_00002.html